

議会だより

令和7年度
小野町中学
議会

定例会6月会議

- 町政を問う！7人が一般質問 … 5ページ
- 議会活動トピックス … 13ページ
- 小野町中学生議会 … 14ページ

定例会 6月会議

6月11日～6月16日



▲藤本新副町長のあいさつの様子

令和7年小野町議会定例会6月会議は、6月11日から16日まで6日間の日程で開かれました。

会議では、条例の一部改正、令和7年度一般会計補正予算等の8件の町長提出議案と、議員提出議案4件が提出され、議案をすべて原案のとおり可決したほか、専決処分並びに継続費及び繰越明許費繰越の報告がありました。

また、7名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたきました。

令和7年度一般会計補正予算

一般会計の歳入歳出にそれぞれ5847万4千円を追加し、総額66億2847万4千円となりました。

主な補正内容

■歳入

項目	補正額
物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金	3949万円
福島県 ICT 推進市町村 支援事業費補助金	79万円
財政調整基金繰入金	1719万円
コミュニティ助成事業 助成金	100万円

■歳出

項目	補正額
定額減税補足給付金 (不足額給付分) ※事務費含む	3949万円
児童館屋外遊具修繕料	33万円
廃棄物処理共同事業負担金	811万円
環境保全積立金	632万円
消防団活動用備品購入費	118万円
B&G 海洋センタートレーニング ルーム用運動器具購入費	99万円

条例の一部改正

条例2件が一部改正されました。
主な内容は次のとおりです。

◆小野町税条例を一部改正

地方税法等の一部改正により、公示送達制度の見直し、特定親族特別控除制度の新設に伴う個人住民税制度の改正、加熱式たばこの課税方式の見直しなどを行うため、規定の整備を行うもの。

◆小野町国民健康保険税条例を一部改正

国民健康保険法施行令の一部改正により、国民健康保険税の課税限度額の引き上げ、軽減対象世帯の所得判定基準の改正を行うため、規定の整備を行うもの。



契約締結

予定価格が5000万円以上になるため、議会の議決を経て契約を締結するものです。

○美売・坪毛線道路新設工事（1工区）請負契約の締結

契約先：株式会社高橋建設

契約額：129,250,000円

○美売・坪毛線道路新設工事（2工区）請負契約の締結

契約先：株式会社吉田土建

契約額：69,300,000円

○小野町交流・定住支援館解体工事請負契約の締結

契約先：飯岡工業株式会社

契約額：72,380,000円

○小野町役場新庁舎敷地造成工事請負契約の締結

契約先：株式会社石覚組

契約額：165,550,000円

人事案件

◆副町長の選任に同意

副町長に、藤本達氏を選任することに全員賛成で同意しました。（令和7年7月1日就任）



藤本 達氏

報告事項

専決処分並びに予算の継続費及び繰越明許費繰越について、町長から報告がありました。

○小野町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

○令和6年度小野町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について

○令和6年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について

議員提出議案

4件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：竹川 里志 議員

◆意見書の提出

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

議案提出者：羽生 洋市 議員
意見書提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

○地方財政の充実・強化を求める意見書

議案提出者：橋本 善雄 議員
意見書提出先：内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣、衆議院議長、参議院議長

○「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

議案提出者：國分 順一 議員
意見書提出先：復興大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

7月第1回会議開催

7月10日に令和7年小野町議会7月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

契約締結

購入の予定価格が700万円以上になるため、議会の議決を経て契約を締結するものです。

○自動パック式トイレ購入契約の締結

契約先：福味商事株式会社

契約額：5,520,240円

○移動式冷風機購入契約の締結

契約先：有限会社印南電気

契約額：6,336,000円

補正予算

一般会計の歳入歳出にそれぞれ1033万4千円を追加し、総額66億3880万8千円となりました。

歳入については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、財政調整基金繰入金が増額となり、歳出については、医療・介護・福祉施設等物価高騰重点支援給付金事業費、会計年度任用職員人件費、老人憩の家「たかむら荘」修繕料、未就学児童保護者支援事業費が増額となりました。

審議した議案と各議員の賛否

- ・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
- ・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	古崎泰介	橋本善雄	國分順一	羽生洋市	會田百合子	緑川久子	先崎勝馬	竹川里志	宗像芳男	水野正廣	中野孝一
定例会6月会議	町長	小野町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		美売・坪毛線道路新設工事（1工区）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		美売・坪毛線道路新設工事（2工区）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町交流・定住支援館解体工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町役場新庁舎敷地造成工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度小野町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	議員	小野町副町長の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月第1回会議	町長	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自動パック式トイレ購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		移動式冷風機購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度小野町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、8月下旬に小野町のホームページに
掲載予定の「会議録」をご覧ください。

緑川 久子 議員 6 ページ

- 1 発達障がいのある子どもの早期発見・早期支援について
 - ◆ ・子ども家庭庁の「5歳児健診」の普及とサポート体制について
- 2 高齢者などの交通弱者の“地域の足”の確保について
 - ◆ ・国や県の補助事業を活用した“AI（人工知能）デマンド交通”の導入について

國分 順一 議員 7 ページ

- 1 町健康事業について
 - ◆ ・特定健診受診率について
 - ◆ ・小野町国保人間ドック費用助成事業について
 - ◆ ・人間ドックオプション検査について
 - ◆ ・制度の周知について
 - ◆ ・事業内容の見直しについて

會田 百合子 議員 8 ページ

- 1 一般行政について
 - ◆ ・不法投棄対策について
- 2 ふるさと文化の館について
 - ◆ ・丘灯至夫記念館について
- 3 図書館について
 - ◆ ・図書館の環境について
 - ◆ ・読書スペースと学習スペースについて

先崎 勝馬 議員 9 ページ

- 1 タクシー利用料金助成について
 - ◆ ・料金改定後も現状維持で可能か
 - ◆ ・新庁舎への交通手段について
- 2 ふるさと納税について
 - ◆ ・返礼品の内容を検討すべきではないか
- 3 中学校の部活動について
 - ◆ ・外部指導者の謝礼金支払について

水野 正廣 議員 10 ページ

- 1 観光行政について
 - ◆ ・小町の里整備について
 - ◆ ・こまちダム周辺整備について

古崎 泰介 議員 11 ページ

- 1 おのまち認定子ども園について
 - ◆ ・現在の町の関わり方について
 - ◆ ・園児数減少による将来性について
 - ◆ ・園内行事と町の連携について
- 2 他市町村や町外団体との交流について
 - ◆ ・かわうちの湯を利用する町民の人数について
 - ◆ ・かわうちの湯を利用した町民の感想について
 - ◆ ・「エフとも」への参加について

羽生 洋市 議員 12 ページ

- 1 町の文化祭について
 - ◆ ・来場者の増加に向けた取り組みについて
 - ◆ ・多くの方が鑑賞できる環境について
- 2 発酵の町づくりについて
 - ◆ ・発酵の町づくりの具体的な計画について
 - ◆ ・発酵食品ソムリエ研修受講生との意見交換会について
- 3 福祉行政について
 - ◆ ・高齢者世帯に対する行政サービスの考え方について



問

発達障がいの早期発見・サポートの取り組みは

答

関係機関の連携した取り組みを実施しており 今後も継続していく



緑川 久子 議員

問 文部科学省の調査によると、発達に不安のある児童が年々増える傾向にあります。ごども家庭庁は従来の健診に加え、就学前の適切な支援につなげるために有効な「5歳児健診」の普及と相談体制の充実や専門的人材の確保、健診後のフォローアップなど、支援体制を整備し助成する方針を示しました。発達障がいは早期に発見し発達に合わせた支援につなげていくことが、その後の子どもの発達に影響を及ぼすことから、町に

おける早期発見・支援体制について伺います。

町長 町では就学前の幼児期の段階で、発達面で支援が必要な幼児の早期発見・支援につなげるため、令和4年度から「5歳児健診」を行っており、県内自治体でも4番目と早い時期から取り組んでいます。健診の結果、経過観察が必要な場合は、子どもの相談室や巡回相談を通じて臨床心理士が相談を行うほか、教育委員会と連携して情報共有を行うなど、スムーズな小学校への移行支援も行っています。

今後もこれらの事業を一体的に行い、支援が必要な子どもやその保護者に対する支援を行ってまいります。

問

“Aーデマンド交通”の導入を検討してはどうか

答

地域の实情にあう最適な移動手段について調査する

問 町では多くの高齢者がこれからの移動手段に不安を覚えています。現在、高齢者などの利用者を限定したタクシー助成が実施されていますが、今後、高齢による運転免許返納者など交通弱者が増えることから、移動手段の確保が大きな課題となっています。人口減少・高齢化が進む中、より効率的で利便性の高い公共交通手段として「Aーデマンド交通」の導入を国や県のような補助制度を活用し実現化に向けて検討すべきと思いますが、町の考えを伺います。

町長 小野町地域公共交通計画に基づき様々な交通モードについて検討を進めており、Aーデマンド交通も検討の一つと考えております。Aーデマンド交通は、導入した場合の需要予測やAーシステム等の導入・運行経費、国・県からの助成制度など、様々な角度から調査検討が必要であるため、今後利便性の高い公共交通実現を目指し、地域の特性や実情に応じた最適な移動手段の確保に向けた検討を進めてまいります。





議員 一 順 分 國

問

特定健診をより多くの方に
受診していただくための対策は

答

電話や訪問による勧奨のほか、
「デジタル健康ポイント事業」も活用

問 小野町の令和5年度における特定健診受診率は39.1%であり、県内町村受診率の50.96%と比べると、いかに受診率が低いかが分かります。町民の健康を守るためにも、ひとりでも多くの町民の方に特定健診を受診していただくための町の対策を伺います。

電話による勧奨、保健師・管理栄養士による戸別訪問などを行っております。また、医療機関における施設健診の勧奨依頼のほか、今年度新たに実施している「小野町70周年記念デジタル健康ポイント事業」を活用しながら受診率向上につなげてまいります。

町長 町では受診率向上に向け、住民総合健診の受診券の発送時期を早め予約期間を長くするほか、予約されていない方への

小野町70周年記念

デジタル健康ポイント事業開催中!!

開催期間 令和7年 6/1~12/31
賞品申込期限 令和8年 1/16まで

対象者 小野町にお住まいの方

小野町70周年を記念して「デジタル健康ポイント事業」を開催しています!

アプリをダウンロードして、登録期間中にウォーキング(15万歩/月)や、初の健康づくり事業(健診や健康まつりなど)に参加すると、カードが取得でき30カードを集めた方全員に賞品をプレゼントします!

① 30カード以上集めた方全員「1,000円分の「小町さくら商品券」または「おカネ」をプレゼントいたします(小町さくら商品券は30カード取得達成後にアプリ内で賞品申込が必要です。1人1回まで申込可能)

② カード取得数が多い上位20名限定(さらに、参加者の中からカード取得枚数が多い上位20名の方に、5,000円分の「小町さくら商品券」をプレゼント!当選は賞品の発送をもってかさせていただきます。

問

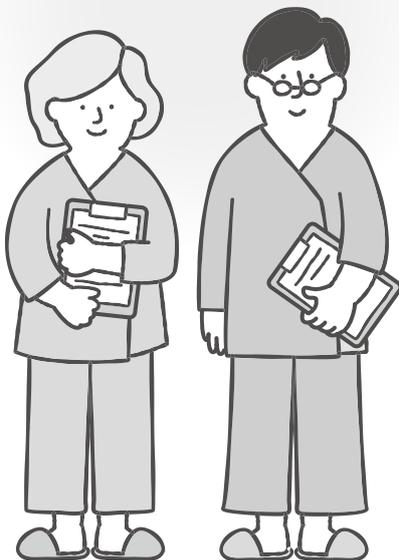
人間ドック費用助成事業について町民が
利用しやすい事業内容へ見直すべきでは

答

他自治体の動向も踏まえながら
制度設計を図る

問 人間ドック費用助成事業については、一人でも多くの町民の方が利用しやすいように事業内容を見直すべきと考えますが、町の考えを伺います。

町長 人間ドック事業においては各自自治体で様々な対応が取られていることから、どのような方法が利用しやすいのか、他自治体の状況も踏まえ調査研究してまいります。また、福島県では令和11年度を目途に「保険税水準の統一」を目指した協議が進められており、これに伴い人間ドックや保健事業においても統一化が検討されていることから、その状況も注視しながら制度設計を図ってまいります。



問

不法投棄に対する町の対策は

答

会計年度任用職員によるパトロール・回収作業を実施し体制を強化した



會田 百合子 議員

問 不法投棄は全国的にも深刻な問題であり、小野町でも例外ではありません。昨年は浮金地区で不法投棄が確認され、最近では小野赤沼地区において段ボールが多数捨てられている現場が確認されました。町の景観を守るためにも不法投棄はあってはならないことです。町としてどのような対策を取られるのか考えを伺います。



町長 町では不法投棄の対策として、注意喚起の看板設置や広報活動を進めていくことに加え、今年度からは会計年度任用職員が他業務の合間に不法投棄のパトロールと回収作業を実施しております。また、県が配置する産業廃棄物不法投棄監視員とも連携を図り監視体制を強化しているところであります。ごみの無いきれいな地域づくりのため、町民の皆さんに協力をいただきながら一丸となって対応してまいります。

問

図書館の読書スペースと学習スペースを区切って利用しやすくしてほしいか

答

読書・学習の両方で過ごしやすい環境を目指す

問

図書館の窓側には3台の机が配置されており、郷土史料館にも同じように3台の机が配置されています。これらは、読書や学習スペースとしての利用が可能となっていますが、学習している生徒の近くの本棚には、本を探しに行くのをためらってしまうとの声を聞きます。

読書スペースと学習スペースを区切って、それぞれの利用しやすい環境をつくることを考えてはどうか、町の考えを伺います。

教育長

図書館では窓際などに読書を楽しむための閲覧コーナーを設けており、一部には机などを配置し、ここで学習されている方もおります。本来、閲覧コーナーであり学習スペースではありませんが、利用者の拡大・便宜を図るため活用を認めているところです。今後学習スペースとしては、郷土史料館のテーブル席を利用するなど、学習される方・読書される方どちらにも利用しやすく過ごしやすい環境となるよう検討してまいります。



郷土史料館の学習スペース



先崎 勝馬 議員

問

新庁舎への交通手段としての施策は

答

町民ニーズを把握しながら様々な方策を検討し交通手段を確保する

問 新庁舎への交通手段として、町内の近隣の方も低料金で利用できる制度や、デマンドタクシー・巡回バスなどの施策が必要になると思われるが町の考えを伺います。

町長 新庁舎建設予定地付近を通る公共交通機関は、現在タクシーのみのため、庁舎移動によって町民の方々の交通手段に支障がないよう対策が必要であります。このため、公共交通機関を利用して新庁舎へお越しいただ

けるような環境の整備はもちろん、デジタルの活用により役場へ出向く必要のない仕組みを構築し、移動負担の軽減を図ることも必要と考えています。現在の路線バスの運行経路の変更やデマンド交通など様々な方策を検討し、町民ニーズにあった暮らしの足の確保に取り組んでまいります。



問

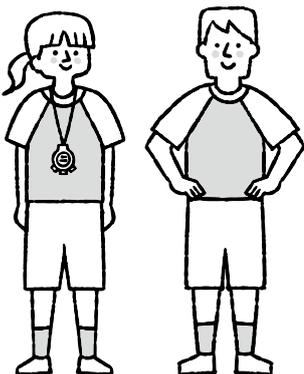
部活動の外部指導者に対する謝礼金を支払ってはどうか

答

部費からの支出が原則だが、今後の状況に応じて公費負担も検討

問 中学校では、外部指導者に指導をお願いしている部活動があり、ほぼ毎日のように指導を行い、週末になると大会や練習試合などで各地に遠征している方もいます。交通費などを考えれば、謝礼金の支払が必要と考えるが、町の考えを伺います。

教育長 小野中学校の部活動では4つの部で外部指導者が入り、週に数回程度、指導に携わっています。外部指導者が入ることにより専門的な指導を受けることができ、個々の技能やチーム力のレベルアップに繋がるほか、指導者との人間関係の構築など教育上多くの面で利点があると感じています。現在、外部指導者にはボランティアで指導いただいております。謝礼については保護者から徴収する部費などの活動費から負担することが原則です。しかし、今後は生徒数の減少により部活動の存続や活動の在り方に影響が出ることも考えられることから、部活動環境の整備に努めるとともに、外部指導者に対する謝金の公費負担についても検討を進めてまいります。



問

町全体で小町の里整備に取り組む考えは



水野 正廣 議員

答

重要な地域資源であり、環境整備や活用方法について様々な視点から検討する

問 小野篁館跡・愛子神社など小町の里整備については、商工会青年部を中心に草刈りなどが行われていますが、町の歴史や伝説に触れることができず、貴重な資源であり、「小野小町」ゆかりの地が失われることがないよう町全体で整備に取り組むべきと考えるが町の考えを伺います。

町長 小野小町に関連する史跡は、町の由来にも関わる重要な地域資源であり、整備が不可欠と考えますので、改めて資料を整理し調査研究を進めるとともに、関連史跡の

環境整備や活用方法を検討してまいります。これらを実行するために、観光協会をはじめとした各種団体や地域の皆さまと連携して様々な視点から協議・検討を行ってまいります。

再質問 先日愛子神社を確認したが、みすぼらしい状態だった。昨年質問した際にも整備保存に努めると答弁いただいたが、その後はいかがか。

町長 整備ができていない部分があり改修していく必要があるが、史跡が民地にあることから、所有者や各種団体の協力を得ながら進めていきたいと考えます。



問

こまちダム周辺を町が積極的に整備してはどうか

答

地元愛護会への支援を継続し、魅力発信や観光イベントへの活用も図る

問 こまちダム周辺には八重桜が植樹され、地元愛護会の方々により手入れがなされています。八重桜は、ソメイヨシノと比べ開花時期が遅れるので、夏井千本桜まつりの後に「こまちダム桜まつり」を開催するなど、観光イベントによる交流人口増加につなげるためにも、町がもっと関わりをもち整備すべきと考えるが町の考えを伺います。

町長 地元愛護会への活動支援を継続しながら、町で公園部分の環境整備を図るなど、ダム周辺の環境保全に努めるとともに、ダムの魅力を知ってもらえるよう情報発信やPR活動を行っていきます。また、観光イベントなどにも活用できるよう、県及び地元行政区などとも意見交換を行いながら検討してまいります。

再質問 過去に質問した際、前町長からも「町が景観維持や環境保全に積極的に関与すべきと考える」との答弁をいただいているが、町長はどう考えるか。

町長 前町長と同様、素晴らしい景観を有する重要な施設と考えています。今後も愛護会への支援を継続するほか、愛護会だけでは困難な樹木の剪定や道路の支障木伐採などについては町で対応するなど、関係団体と連携しながら環境保全に努めてまいります。



古崎 泰介 議員

問

園児数が減少しても安定した
保育・幼児教育を継続するための対策は

答

補助金などの財政的な支援を継続していく

問 現在こども園の園児は一学年あたり最大でも30名程度ですが、今後ますます園児数が減少していくと、民間による運営・経営が困難とならないか不安があります。行事や活動に対する各家庭の負担が増えたり、子どもを預けることが困難になることが生じないよう、安定的な保育・幼児教育を維持継続のためどのような対策をするのか町の考えを伺います。

町長 全国的に子どもの数が減少する中で、安定的な保育の確保は重要な課題です。町では、施設運営費に対する「施設型給付費」の支給や、延長保育・一時預かり事業などを実施するための費用を補助する「子ども・子育て支援交付金」などの補助事業により財政的な支援を行うほか、幼児教育に関する事業に対する講師派遣費用の負担も行っています。今後も、これらの財政的な支援のほか、こども園と連携し安定した経営継続のため、各種支援策を検討してまいります。



問

「エフとも」への参加について
検討してはどうか

答

組織の活動内容や取組状況など
今後の動向を注視する

問 「エフとも」は、東北・福島の復興を推し進めるために設置された「F-R-E-E」を中核とした地域の教育・科学・文化の振興プラットフォームであり、近隣の川内村や葛尾村もその創設メンバーとなっています。小野町も早期に参加することで、町はもとより連携相手にも利益がもたらされると考えますが、町として参加を検討しただけなのか伺います。

町長 「エフとも」の創設は、浜通り地域などにおいて「次代を担う人材を育て、未来をつくっていく」ことや、「地域とともにコミュニティ創成を進めていく」ことに取り組み団体が広域的に連携し、その取り組みの効果を高めることを目的としており、その目的はこれからの人口減少社会に適応したまちづくりを進めるうえで、大変共感できるものです。「エフとも」への参加については、今後の活動内容や参加団体の取り組み状況をみながら様々な角度から調査する必要があります。その上で検討してまいります。



問

文化祭の来場者増加に向けた取り組みは

答

各会場・各展示を巡るスタンプラリーによる集客を図る

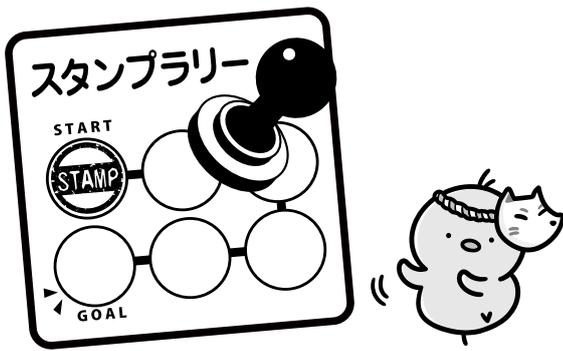


羽生 洋市 議員

問 文化祭は毎年開催され、各団体の発表の場となっており、昨年は、参加団体の皆さんが設置・撤去作業に携わり協力していましたが、文化祭への来場者数は少なく見受けられました。今年の文化祭開催に向け、より多くの集客のため、どのような取り組みを考えているのか伺います。

教育長 今年度も11月1日・2日の両日開催で、小野町芸術文化団体連絡協議会の加盟団体による合唱や楽器演奏、ダンスなどの発表会を予定しているほか、老人会や寿大

学の皆さん、絵手紙愛好会の作品展も計画しています。過去2年間の来場者数については、発表会に約150名程度、作品展示には約300名程度でありました。今年度は、町ホームページやLINEによる周知を行うほか、各会場・各展示を巡るスタンプラリーの実施など、例年以上に集客を図ってまいります。



問

高齢者世帯に対する行政サービスについて

答

有償ボランティア事業やデジタル相談窓口をスタート

問 昨年、高齢者世帯への支援制度について質問しましたが、小野町にあった制度の構築に向け調査研究していくとの答弁をいただきました。年々、高齢者のみの世帯が増加している状況であり、改めて高齢者に対する町の支援の考え方について伺います。

町長 町における65歳以上の高齢者の割合は5月末時点で約40%になっていきます。今年度の新規事業として、ゴミ出しや電球交換などの日常生活でのちょっとした困りごとについて、住民同士で助けあう有償ボランティア事業「ささえ愛」を町社会福祉協議会へ委託してスタートさせました。また、デジタルに不慣れな高齢者からの質問に対応する「デジタル相談窓口」を開設したほか、地域の高齢者サロンに出向いての「スマホ教室」を開催する予定です。今後、高齢者にやさしいまちづくりに取り組んでまいります。



議会活動トピックス

ふるさと小野町会総会(5月18日)

埼玉県戸田市で行われた「ふるさと小野町会」総会へ参加し、会員の皆様と交流を深めました。



総会の様子



全員で記念撮影

田村地方町村議会議長会表彰

4月24日に開催された田村地方町村議会議長会総会において、田村弘文議長が表彰を受け、定例会6月会議において表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、町村議会議長として5年以上在職し、その功労が認められた方に授与されるものです。



表彰を受けた田村議長

町村議会広報研修会(7月1日)

郡山市で開催された福島県町村議会議長会主催の広報研修会に、広報編集委員会で参加しました。

研修では、「戦略的広報と議会報づくりの型」をテーマにした講義を受講したほか、他自治体の議会広報紙を事例にした「広報クリニック」でよりよい広報紙づくりのポイントを学びました。

今後も、議会活動や議会情報を分かりやすく発信する広報紙づくりに取り組んでまいります。



研修会の様子

令和7年度

小野町中学生議会を開催

小野町の将来を担う中学生が、自分の夢や希望を織り交ぜながら質問や提案を行い、町政や町議会への関心や理解を深め、社会に参画する能力を培うとともに、中学生の視点からの意見を今後のまちづくりに反映させることを目的とし、「中学生議会」を開催しました。



○中学生議員6名が町長に質問（議長役除く）
質問・答弁の内容は、11月発行予定のおのまち議会だよりへ掲載します。



議員番号 7番

うさみ ことね
宇佐美 琴音議長（小野中学校3年2組）



議員番号 1番

にした さくや
新田 朔也議員
（小野中学校3年1組）

質問内容 空き家や田畑の有効利用について



議員番号 4番

ししど かずは
穴戸 万葉議員
（小野中学校3年2組）

質問内容 Suica カードと勉強場所について



議員番号 2番

いそざき たいち
磯崎 太一議員
（小野中学校3年2組）

質問内容 小野町の観光業を盛り上げるために



議員番号 5番

せんざき ゆずは
先崎 柚葉議員
（小野中学校3年3組）

質問内容 小野町の交通について



議員番号 3番

さとう こうのすけ
佐藤 昂之介議員
（小野中学校3年3組）

質問内容 エコカー用設備と学校のPCに関する提案



議員番号 6番

ねもと かほ
根本 香穂議員
（小野中学校3年2組）

質問内容 目安箱の設置について

議会活動日誌

5月

- 2日 教職員管理職歓迎会
- 9日 月例全員協議会
第38回小野町長杯ゲートボール大会
- 15日 小野町商工会 第66回通常総代会
田村地区交通安全協会小野支部定期総会
- 16日 第38回異業種交流会定期総会
- 18日 ふるさと小野町会総会（埼玉県戸田市）
- 19日 全員協議会
小野町建業会定期総会
- 21日 小野町議会OB会総会
- 22日 新人議員研修会（福島市）
小野町観光協会総会
- 23日 例月出納検査
百歳賀寿贈呈式
- 25日 高柴山山開き
福島県剣道連盟小野支部剣道大会
- 26日 令和7年度小野町水防協議会
- 27日～28日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都）
- 29日 田村地区交通安全協会定期総会（田村市）
郡山法人会小野支部報告会

6月

- 3日 定例会6月会議議会運営委員会
- 5日 福島県町村議会議長会 第1回定期総会（福島市）
- 6日 定例会6月会議全員協議会
- 7日 矢大臣山山開き
- 8日 第39回県中支部ゲートボール大会
- 11日 定例会6月会議（本会議）・常任委員会
- 12日～13日 定例会6月会議（一般質問）
- 14日 小野町70周年記念行事
陸上自衛隊第6音楽隊演奏会

- 16日 定例会6月会議（本会議）
月例全員協議会
- 20日 小野町シルバー人材センター総会
- 22日 県消防協会田村支部幹部会（三春町）
- 25日 例月出納検査
議会改革特別委員会
新庁舎建設等検討特別委員会
- 27日 第45回小野町石材組合定期総会
- 28日 八重山祭り in 小野町 意見交換会
- 30日 田村地方観光連絡協議会総会（田村市）

7月

- 1日 福島県町村議会広報研修会（郡山市）
小野町ふるさと暮らし支援センター
第21回通常総会
- 9日 小野町交通安全対策協議会
小野町青少年育成町民会議
- 10日 7月第1回会議
（議会運営委員会 / 全員協議会 / 本会議）
月例全員協議会
議会運営委員会
- 11日 公立小野町地方総合病院企業団議会定例会
- 14日 郡山地方広域消防組合議会
第1回臨時会（郡山市）
- 15日 小野町更生保護女性会あいさつ運動
- 16日～18日 厚生産業常任委員会行政調査
（熊本県高森町・山都町）
- 22日 田村地区防犯協会連合会総会（田村市）
- 24日 議会改革特別委員会
民生委員推薦会
- 25日 例月出納検査
- 25日～28日 決算監査

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

議会からの **お知らせ**

定例会 9月会議は

9月4日(木)から開会します。

一般質問は9月5日(金)の予定です。
傍聴をお待ちしています。

- 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - 一般質問の様子をYouTubeにより動画配信をいたします。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(☎0247-72-6930)

令和7年
8月22日発行

183号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会

〒963-1349
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻

0247-72-6930
092

スマホ用アプリ

マチイロで配信しています！

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。ぜひご覧ください。

QRコードからアクセスしてください



マチイロ
マチを好きになるアプリ

表紙の写真

今年で3回目となる中学生議会が開催されました。中学生議員の堂々と発言する頼もしい姿も素敵でしたが、記念撮影で特別に議長席に座り、楽しそうに写真を撮る姿も印象的でした。議会を身近に感じるきっかけになったのではないのでしょうか。

最後に、宇佐美琴音議長のあいさつの一部をご紹介します。

「今回出された質問や提案は、小野町をより良くしたいという思いや、ささいなことに気づきやすい観点を持っているからこそ出されたものだと思います。少しの変化や違和感に気づくことで改善できる部分があり、その積み重ねが町を良くしてくれます。そして私たちも小野町がより好きになり、住み続けたいと思えるようになります。」

中学生議員の皆さんからの素晴らしい提案が実現することを期待しています。

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員 長	田村 弘文
副委員 長	中野 孝一
委員 員	先崎 勝馬
委員 員	緑川 久子
委員 員	會田百合子
委員 員	羽生 洋市
委員 員	國分 順一
委員 員	橋本 善雄

あじぎ

去る7月20日は参議院議員通常選挙の投票が行われました。

長年、政治への無関心が叫ばれてきましたが、若年層の関心度も高まり三連休の中日にも関わらず高い投票率となり、これからの国づくりのために、自分の一票を託したいという強い思いが感じられました。

私たちの町においても、町民の皆さんに町政に参加して頂き一緒に考え行動し、そしてより良い町づくり、地域づくりを進めていきたいと思えます。

今年の夏も、厳しい暑さとなりました。室内の温度調整に気を配り、適度な水分補給と塩分補給により、ご自愛の上お過ごしください。

小野町議会広報編集委員会
委員 國分 順一

